

目 次

学会長挨拶「協業で地域の障害児（者）を支える～『夢と浪漫の作業療法』の実践～」

西川 拓志…………… 1

第14回石川県作業療法学会プログラム…………… 2.3

特別講演

テーマ 「からだに触れずして 身体を動かし 心を揺さぶる作業療法」

NPO法人 夢の湖舎 作業療法士 藤原 茂…………… 4

一般演題

1. 関節リウマチにより両手指に変形をきたし家事動作が制限されていた一症例

—手術後手指機能の再獲得に向けて—

金沢医科大学病院 藪下 清美 松本 雅美…………… 5

山田 昌夫(MD) 坪川 操(MD)

横山 光輝(MD)

2. 圧迫骨折によりライフスタイルの変更を予期なくされた症例に対するOTの介入

やわたメディカルセンター 多田 幸代 橋本 実…………… 6

宮岸 桃子 広瀬 恭子

後藤 伸介(P T) 西村 一志(MD)

3. 皮膚筋炎および多発性筋炎の作業療法経験

金沢大学附属病院 麦井 直樹 田村芽衣子…………… 7

沢崎 詩織 長谷川稔(MD)

金沢大学大学院医学系研究科 生田 宗博 染矢富士子(MD)

立野 勝彦(MD)

4. 小脳出血に高次能機能障害を伴った患者への作業療法経験

恵寿総合病院 山崎 卓礼 山本 尚美…………… 8

福井 朱美 進藤 浩美

川北慎一郎(MD)

5. 発症6ヶ月経過後ADLが自立したクモ膜下出血の一例

佐原病院 八崎 裕美 佐原まゆみ(MD)…………… 9

6. 劣位半球症状を呈した症例の家庭復帰 —錯乱状態の改善への試み—

| | | | |
|--------------|------------|-----------|----|
| やわたメディカルセンター | 島内 知栄 | 橋本 実 | 10 |
| | 山田 久美 | 東森 祐子 | |
| | 後藤 伸介(P T) | 池永 康規(MD) | |

7. 主婦の役割 再獲得に向けて —通所リハで小グループを利用した事例—

| | | | |
|----------------|------------|------------|----|
| やわた通所メディカルセンター | 中田 幸栄 | 村田 明代 | 11 |
| | 酒井 広勝 | 杉浦 有子 | |
| | 宮本 岳史(P T) | 霧下 和也(P T) | |

8. AMMの改良を試みて —認知症患者に対する注意評価—

| | | |
|-----------------|-------|----|
| 金沢大学大学院医学系研究科院生 | 小路 千絵 | 12 |
| 老人保健施設 まだら園 | 山田ともみ | |
| 金沢大学医学部保健学科学生 | 中森 清孝 | |

9. 重度障害のある人へのAssistive Technology サービスに関する調査報告

| | | | |
|------------------|----------|-------|----|
| 石川県リハビリテーションセンター | 寺田 佳世 | 北野 義明 | 13 |
| | 岸谷 都(MD) | | |
| 石川県工業試験場 | 高橋 哲郎 | 前川 満良 | |

新人教育プログラム症例研究

●金沢西支部

前頭葉損傷例の注意障害に対する認知リハの試み

| | | |
|------------|-------|----|
| 石川県済生会金沢病院 | 佐野三菜子 | 14 |
|------------|-------|----|

股関節の仮骨形成がみられた頸髄損傷の一例

| | | |
|------------|-------|----|
| 石川県済生会金沢病院 | 岩田 祐美 | 15 |
|------------|-------|----|

自発行動の増加が見られた一症例 —風船バレーを中心とした関わり—

| | | |
|---------------|-------|----|
| 金沢リハビリテーション病院 | 山本 友恵 | 16 |
|---------------|-------|----|

発症後13年経過し、厭世的な生活を過ごしてきた頸損患者に対する作業療法

| | | |
|---------|-------|----|
| 金沢赤十字病院 | 上田 優子 | 17 |
|---------|-------|----|

移乗動作が一部介助から介助量が軽減しない右片麻痺患者について

| | | |
|--------------------|-------|----|
| 金沢大学医学部保健学科作業療法学専攻 | 中森 清孝 | 18 |
|--------------------|-------|----|

片麻痺患者の育児動作への導入

博洋会 藤井脳神経外科病院

松田 志保……………19

●金沢東支部

高齢者に対する訪問作業療法～高齢者のリハビリテーション目標を考える～

訪問看護ステーションつくし

白山裕美子……………20

脳動脈瘤再破裂後の遷延性意識障害患者に対するアプローチ

金沢大学附属病院

沢崎 詩織……………21

利き手交換を目的とした文字パズルの試みについて

—書字能力・失語症改善が見られた症例について—

介護老人保健施設 千木町ケア・センター

川上 陽子……………22

作業療法における種目の選択について

—種目変更により症状が改善した一症例—

石川県立高松病院

西村 優……………23

作業療法アプローチの一手段としてのマシンリハの活用

—パーキンソン病の一例より—

城北クリニック

永原 知佳……………24

調理動作に変化が見られた発症から半年が経過した若年者症例

～手掌での知覚探索活動にて正常な運動を獲得する～

浅ノ川総合病院

野島 仁美……………25.26

視野障害、失調を呈した症例の在宅復帰を目指して

金沢医科大学病院

藪下 清美……………27

●能登支部

園芸と料理を中心にコミュニケーションに働きかけた一症例

七尾松原病院

柿島 瑠美……………28

排泄自立を目指して行なった片麻痺患者に対する作業療法の検討

—変形性膝関節症と統合失調症の訓練への影響—

公立能登総合病院

早川 紫……………29

下肢筋力の向上が見られる認知症患者様に対するアプローチ

—転倒防止に向けての取り組み—

介護老人保健施設 和光苑

中辻 有香……………30

片麻痺患者に対する座位保持, 移乗介助量軽減に向けたアプローチ

恵寿総合病院

加茂川まり……………31

閉じ込め状態を呈した脳幹梗塞患者へのアプローチ

～コミュニケーション支援からADL拡大に向けて～

恵寿総合病院 山本 尚美……………32

橈骨遠位端骨折に伴ない、反射性交感神経性ジストロフィーを呈した1症例

珠洲市総合病院 滝 さやか……………33

左側の認識低下が著しい患者の早期ADL獲得を目指して

恵寿総合病院 高木 愛衣……………34

OT・PT・STすべてを拒否した重度右片麻痺患者へのADL訓練導入について

～起きるところからトイレまで～

恵寿総合病院 大喜多由佳……………35

安定した地域生活に向け外来作業療法を取り入れている一症例

七尾松原病院 長井 拓也……………36

3ヶ月の訪問リハビリにより寝たきりから屋内歩行・排泄自立となった一症例

恵寿総合病院 小川 正人……………37

●加賀支部

感情の陰性転移を起こした認知症患者に接して

片山津温泉丘の上病院 和知晋太郎……………38

攻撃性と愛玩性が混在する認知症老人との関わりを通して

片山津温泉丘の上病院 西村 幸盛……………39

人工股関節全置換術後症例に対する脱臼予防の動作指導

やわたメディカルセンター 井村 章子……………40

食事動作の獲得を目指して

小松療育園 梶谷奈央子……………41

パーキンソン病患者の退院後の方向性について

やわたメディカルセンター 竹内 理恵……………42

帰宅要求が顕著な対象者にバリデーションを用いて

片山津温泉丘の上病院 馬 和典……………43

食事動作能力の維持を目指して

小松療育園 松本奈穂子……………44

精神症状の回復に伴い、身体合併症にも改善が認められた一例

小松市民病院 坂下美加代……………45